



# 自衛隊栃木地方協力本部

## まちなか文化交流施設で自衛隊パネル展及び広報展を開催 ～人口が少ない地域でも諦めずに自衛官採用へ繋げる試み～



自衛隊パネル展の様子



自衛隊広報展の様子

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川3陸佐）は、8月11日（日）から18日（日）までの間、茂木町まちなか文化交流館「ふみの森もてぎ」にて、自衛隊活動パネル展を行ったほか、18日には自衛隊広報展を開催した。

同パネル展及び広報展は、文化交流館がある茂木町役場及び自衛隊茂木家族会の協力支援を頂き、対象者人口が少ない地域でも地域の未来を担う自衛官採用へ繋げることを目的に毎年開催している。

開催にあたり、8月のお盆時期に合わせ実家へ帰省する地域住民に展示会場に足を運んでもらう機会を増やすことを目的に、茂木町役場と調整を行い交流館HPに開催告知案内を早期掲載して頂いた。パネル展では災害派遣などの自衛隊の活動パネルのほか、文星女子高等学校の学生が作成した「自衛隊カルタ」を展示した。来場者は陸海空の装備品や災害派遣活動パネルをじっくりと鑑賞し、さらに自衛官に模した鳥獣人物戯画風のウサギやカエルのイラストでユーモアいっぱい描かれた「自衛官のあるあるエピソード・自衛隊カルタ」を楽しそうに読みながら、自衛官の日頃の生活の様子に関心を寄せていた。

18日開催の広報展では、1/2トラック展示、制服試着、輪投げコーナー及び家族会主催の自衛隊グッズ販売会を開催し、ブースは来場者で賑わった。お盆休暇で帰省したという来場者からは、「地域の交流施設で自衛隊車両や制服に触れながら自衛官とも交流が図れ、自衛隊の存在を身近に感じることができました！」と感想をいただいた。

真岡募集案内所は「広報展では地元出身の自衛隊員と地域住民との交流も見られ、地域と自衛隊との繋がりを深めることができた。今後も、子供たちの夢や地域安全を守るための意識向上に寄与する広報活動を積極的に開催していく」としている。